



東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和4年3月24日発行 第14号

コロナ禍での一年を振り返る

岩内東小学校長 齊 藤 信 之

コロナ禍での3度目の春を迎えています。学校中に「ありがとう」の思いが満ち、呼びかけや歌声が響く一年で最も素敵な雰囲気にも包まれるはずの3月が、今年も静かに過ぎていきました。

「6年生を送る会」や「卒業式」の代わりに、在校生の子たちは、卒業生への感謝やお祝いの気持ちをメッセージ・カードに込めました。そこには、運動会での「よさこい」や「リレー」で活躍するカッコいい姿に憧れたこと、「委員会活動」で優しく親切に教えてもらったことなど、子どもたちの素直な気持ちがあふれています。下級生にとって、6年生の子たちはヒーローであり、よきお手本であったことがよくわかりました。

最上級生として、下級生にどんな姿を見せ、何を伝え、何を残していくか。毎年、6年生に求め続けられる大きなテーマです。次の6年生となる現5年生の子たちは、いったいどのような姿を見せてくれることでしょうか。今から期待が膨らみます。

1年生から5年生にとっては、今日をもって本年度の修了となりました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年となりました。学校・学級閉鎖を経験し、感染症対策と教育活動の両立の難しさに悩んだことも一度や二度ではありません。「どんな対策を講じれば、どこまでの活動ができるのか」ということを常に模索してきた一年でした。そんな中であって、自分たちにできることに力を注ぎ、一つ一つ積み上げながら、成長の跡をしっかりと残してきた子どもたちには、大きな拍手を送りたいと思います。逆に、コロナ禍がプラスに働いたこともありました。それは、一人1台のタブレット端末の活用により拍車がかかったことです。学校・学級閉鎖の折には、学校と家庭とをつなぐ心強いツールとして活躍し、先生方もその活用方法を主体的に学び、実践へとつなげました。今では、毎日の持ち帰りが定着し、一日の学習のどこかの場面で必ずと言っていいほど使われています。一方、SNSでのマナーをはじめ、正しく安全な利用という面では課題も残っています。有効活用による学習の充実を図ることと併せて、正しく理解を進めていきたいと思っています。

この1年間、保護者、地域、教育関係者の皆様には、本校の教育活動に対し、多大なご支援をいただき、誠にありがとうございました。これからも教職員一同、子どもたちのために力を合わせてがんばってまいります。今後とも、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。